

生活経験の拡大を図る45年にわたる継続的な活動

■ 活動する地域

愛媛県松山市

■ 団体名

愛媛大学教育学部
附属特別支援学校同窓会（虹の会）

■ 基礎データ

継続年数	45年間
活動分野	学習、スポーツ等
主な対象	知的障害
主な連携先	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
団体の規模等	会員約95名、ボランティア約30名

活動の概要

卒業生同士の交友を深め、様々な活動をととして社会生活に必要な知識・マナーの習得を図り、生活経験の拡大を図ることを目的に活動しています。原則、活動は毎月1回。生涯学習活動としてテーブルマナー講座や地域の文化財散策、芸術体験・鑑賞、スポーツなどで、毎回約40名が参加しています。

■ 活動の内容

愛媛大学教育学部附属特別支援学校同窓会（虹の会）の会員は、愛媛大学教育学部附属小学校・愛媛大学教育学部附属中学校の特殊学級及び愛媛大学教育学部附属養護学校・附属特別支援学校の中学部・高等部の卒業生、1年以上高等部に在籍していた生徒で所定の会費を納入した者及び愛媛大学教育学部附属特別養護学校・附属特別支援学校教職員・旧職員、愛媛大学教育学部附属特別支援学校親の会会員で構成しています。

原則として毎月1回、テーブルマナー講座、地域の文化財散策・巡検、芸術体験・鑑賞、バス利用による巡検、スポーツ等の生涯学習活動を実施しています。平均して、毎回約40人の参加がありました。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今までのような活動ができていませんが、「虹の会通信」を発行して会員相互の交流を行っています。感染が収束したときは、今までのような活動を再開したいと考えています。



写真1 テーブルマナーを学んでみんなで楽しく食事

■ 活動の経緯・体制

会員同士の交友を深めるとともに、様々な活動を通して社会生活に必要な知識・マナーの習得を図り、生活経験の拡大を図ることを目的として設立されました。相互交流・親睦の維持や生涯学習による社会生活向上をめざし、総会にて事業、決算・予算の承認を得て、役員（会員から選出）を中心に実施・活動しています。

■ 活動の効果・普及状況

会員は活動を楽しみにしています。会員相互や附属特別支援学校教職員との情報交換もでき、附属特別支援学校生徒の進路設計において参考となっています。テーブルマナー講座は飲食業界、地域の文化財散策・巡検は文化財保護活動団体、芸術体験・鑑賞活動は地域の演奏家、バス利用の巡検は観光業界の協力を得ています。

■ その他（団体紹介や参考情報等）

愛媛大学教育学部附属特別支援学校

<https://tokushi.edc.ehime-u.ac.jp/tokushihp/>



写真2 巡検で呉市の大和ミュージアムにも行きました